

平成26年度

地区医師会IT化の実態と  
意識に関するアンケート

# 問1: 医師会および付属施設におけるIT化 (全59医師会)

## 医師会事務局とのネットワーク化

健康審査センター(7) 57.1%

訪問看護ステーション(27) 22.2%

地域包括センター(11) 18.2%

その他 (13) 15.4%

休日診療所(7)、看護学校(4)

病児保育所(1)、在宅相談(1)

# 医師会および付属施設におけるIT化 (全59医師会)

	事務	健診	訪看	包括	その他
LANを含むIT化	81%	71%	63%	64%	54%
職員個人専用PC	88%	86%	70%	64%	54%
HPでの情報公開	86%	86%	85%	82%	77%
情報漏洩等対策	66%	71%	67%	73%	70%
施設代表メールアドレス	95%	45%	52%	55%	54%
職員個人メールアドレス	70%	57%	41%	27%	23%
メーリングリスト会員	25%	14%	26%	27%	23%
委員会	29%				
理事会	58%				

## 問2: 会員への定期的通知や事務連絡等の手段

1: FAX	29.8%	
Eメール	12.1%	
ホームページ	8.9%	
電話	7.1%	
会員用掲示板	2.8%	
携帯メール	0.3%	小計61.0%
2: 郵送	20.9%	
宅配便	12.5%	
集配便	9.8%	小計43.2%
3: その他	3.9%	

## 問3事務局のIT化により事務作業は効率化 されると思うか

1.思う(全般的)	47.5%
2.思う(一部)	45.8%
3.思わない(4)	6.8%

## 問4:IT, OAに関する職員の教育指導

実施していない	55.9%
実施している	42.4%
1.社内研修	70.8%
2.研修会等参加	25%
3.その他	25%

## 問5: 日医や都医からの伝達文書の管理方法

- |            |       |
|------------|-------|
| 1.紙(印刷物保存) | 89.8% |
| 2.サーバーに保存  | 47.3% |

独自開発(1)、市販システム・ソフト(3)

## 問6: 日医医療情報システム協議会への 事務職員の参加について

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1.参加している         | 20.3% |
| 2.参加していない        | 64.4% |
| 3.協議会の存在を知らない(7) | 11.9% |
| 4.その他(2)         | 3.4%  |

## 問7: 医師会の総合情報ネットワーク構想の有無

構想が有る(3)	5.1%
構想は無い(40)	67.8%
計画中(11)	18.6%
その他(5)	8.5%

## 問8: 医療情報委員会は設置されているか

設置している(小委員会等含む)	52.5%
設置していない	47.5%

## 問9.映像会議を使用しているか

使用している (2)	3.4%
使用していない(57)	96.6%

## 問10.グループウェアを使用しているか

使用していない(41)	69.5%
使用している(18)	30.5%

メール(11) スケジュール(12) 掲示板(9)  
電子会議(3) その他(5)

## 問11: 災害時の緊急連絡用の伝達手段

1.電話	64.4%	(+2)	
2.FAX	57.6%	(+12)	
2.メール	57.6%	(+7)	
4.携帯電話	52.5%	(-1)	
4.防災無線	52.5%	(-3)	
6.災害用電話	32.2%	(+10)	
7.衛星電話	22.0%	(+4)	
8.アマチュア無線	5.1%	(-4)	
9.その他	13.6%	(+1)	(前回比)

## 問12.感染症等の緊急連絡用の伝達手段

1.FAX	79.7%	(+8)
2.メール	62.7%	(+9)
3.電話	55.9%	(+8)
4.携帯電話	32.2%	(+9)
5.その他	6.8%	(-3)

## 問13.他医師会や行政、他医療機関との ITを利用した連携

メール、MLの利用：10医師会  
在宅関連のSNS：3医師会

問14.地域住民に対する医療情報や健康推進等の広報活動にITを利用している事例  
ホームページによる広報活動:27%(16)

問15.IT関連の年間予算額(30医師会より返答)

100万円以下 63.3%(19)

101~200万円以下 13.3%(4)

200万円以上 23.3%(7)

\* 最高は600万円でした

問16.医師資格証発行のためのLRA担当者設置の準備状況 32地区医師会で設置済み

# まとめ

- 1: 医師会事務局および付属施設におけるIT化の普及はかなり進んでいるが、それらのネットワーク化は3医師会のみであり情報漏洩対策と共に今後の課題である。
- 2: 会員への定期通知や事務連絡はFaxが最も多く使われているが、依然紙媒体の利用も多く、調査開始の平成20年度以来変化が見られない。尚、日医や都医からの情報保存は紙媒体が9割、電子媒体が1割であり両方保存が4割であった。
- 3: 事務局のIT化による業務の効率化はほとんどの医師会で認められているが、職員のIT教育指導は約4割強の医師会での実施に留まり、指導機会の増強が望まれる。また、医療情報委員会の設置は5割強の医師会で、日医医療情報協議会への事務職員の参加は2割強であった。いずれも改善を求めたい。
- 4: 映像会議の利用は2医師会で、グループウェアの利用は3割強の医師会で行われていた、更なる活用が望まれる。
- 5: 災害時や感染症の緊急伝達手段はFax、メール、各種電話など様々な方法で普及が進みつつある。東日本大震災や新型インフルエンザの流行がその後押しとなっていると考えられる。
- 6: 他の医師会・医療機関や行政とのITを利用した連絡はメールやメーリングリストが、また、医師会の広報活動にはホームページの利用が一部行われていたが、更なる普及が必要である。
- 7: 医師資格証発行のためのLRA担当者は32地区医師会で設置されている